

教育事務所だより

令和7年3月14日発行

1+1=2でなく4、5となっていく組織の状態をめざして

所長 徳永 勝俊

残すところ約2週間となりました。今年度も、十分な人員配置ができない中で、子どもたちの学びを止めず、豊かなものになるようにご尽力されている学校園の教職員の皆様に感謝申し上げます。

7月の松江教育事務所報(第1号)の巻頭言には、私自身の戒めを込めて、「ぜひ研修で学んだことを自分の学びにするために実践してください、あわせて個人や集団で省察することを大切にしてください」と書きました。私自身、実践に至るところまでできなかったことを反省していますが、省察する機会は大切にしてきたところです。特に次の2つの研修での講演に心を打たれましたので、ぜひ紹介させていただきます。

千葉工業大学の福嶋尚子准教授の「隠れ教育費軽減のための財務改善」の講演では、目に見えにくい隠れた教育費である保護者負担(学用品や制服など)や教職員の自腹(教材に使用するものなど)の現状を生々しく知り、とても心が痛みました。様々な家庭環境があることを踏まえ、「隠れ教育費」に一層意識を向け、削減のための財務改善に努めることはとても重要と考えます。一方省察する中で、一緒に研修を受けた学校事務職員からは「見直す時間がない」「課題と思っても一人では動きにくい」という声も聞こえました。学校事務職員と管理職が力を合わせて学校全体で取り組む必要があると痛感したところです。

国土舘大学の北神正行教授の「学校組織マネジメント」の講演では、まず学校は、授業や学級経営を担当する教員個人の専門性と裁量に委ねられている「個業型組織」であることを認識する必要があると言われました。個業であるがゆえに子どもへ迅速な対応ができる一方、個の予測を超えた多様化・複雑化・困難化への課題には、複数の組織の知恵を結集する必要があることを改めて確認しました。省察する中で授業づくりに話題が広がり、「働き方改革の名のもとで研究授業の内容を一人で考えるしかなかった」と悲しむ声があった一方で、「教員間で練り合って協働した授業実践ができて本当に勉強になった」という声も聞きました。改めて近くにいる同僚の存在の大きさを確信しました。

この春、松江管内の400名を超える教職員が新しい組織に異動します。もちろん留任の方も、新年度は新メンバーを含めた新しい組織がスタートします。「子どものために〇〇がしたい！」と思ったときに理解してくれる同僚が近くにいれば勇気が湧き、自信をもって業務ができ、大きな成果(教員の仕事だと成果がすぐにはでないかもしれませんが、大きな達成感を得ることがありますね)をあげることがあります。学級開きの際に子どもたちに話す言葉でもありますが、大人の我々の組織もお互いの専門性を結集し、1+1=2でなく4、5となっていく状態をめざしたいものです。校長先生におかれましては、次年度も限られた人材の中で、学校経営方針のもとで教職員一人一人が専門性をいかして活躍できますよう、引き続きよろしく申し上げます。

しまねの学力育成プロジェクト事業から

学校教育スタッフ 企画幹 植田 道

「しまねの学力育成プロジェクト事業」は、令和3年度「しまねの学力育成推進プラン」策定を受け、児童生徒に確かな学力と学び続ける意欲を育む教育を推進するため、「授業の質の充実」「家庭学習の充実」「地域に関わる学習の充実」を柱に、小・中学校等において学力育成が図られるよう取り組む教育委員会を支援する事業です。松江教育事務所管内では、松江市が乃木小学校、湖南中学校、安来市が荒島小学校、第三中学校を研究校として、学力育成の取組を進めてこられました。



取組のよさ（講評から）

※具体的な取組内容はEIOSを参照

【松江市教育委員会】

- 学力育成担当者による研究協議で「各校に持ち帰る内容を話し合う」ことを示し、研究の成果と課題の横展開を図っていること
- 学力調査結果を活用した分析手法を提案し、学力向上のサイクルの確立を目指していること
- 単なるスキルではない「思考力、判断力、表現力」の育成をめざして、各教科の見方・考え方を働かせた授業の構想、深い学びの実現をめざす子どもたちの具体的な姿の設定、適切な評価の実現に向けて、全市への普及を図ること
- 学び通信を通しての学校への温かい励まし

【乃木小】

- 授業づくりの柱を整理し、具体的な手立てを題材や単元、単位時間に取り入れて授業実践すること
- 育成を目指す資質・能力を、研究構想に具体的な子どもの姿で描くこと
- 「語らい（研究職員会議）」で教員一人一人が感じる子どもの姿を皆で共有し、子どもを中心に据えて授業づくりに臨むこと
- 「語らい」により、「進んで意見を述べる」「授業構想について授業者でない先生が説明する」といった教員の姿が生まれ、「授業づくり」が「職員集団づくり」にもつながっていること

【湖南中】

- 具体的な手立てを構想、共有し、教科の壁を越えて取り組んだこと
- 本時のねらいから逆算して授業をつくる「授業プランシート」を活用し、「学習課題とめあて」「定着を図るための評価問題」「本時の学びからつながる具体的な子どもの姿」を意識すること
- 「教師も生徒も学習の見通しを持つこと」「学習を自ら振り返ることが必要であること」「1単位時間の授業の全体像を捉え、学習後の子どもたちの姿を具体的に持つこと」といった視点で授業づくりを改めて見直したこと

【安来市教育委員会】

- 「支持的風土の醸成」を学力向上の最重要ポイントとして位置付け、これまでの市の取組に本事業を融合して展開すること
- 家庭学習と結びつけた授業づくりの実践や AI ドリルの活用など、「グングン学ぶやすぎっ子」の育成のため、家庭学習の在り方に着目し、研究実践を推進したこと
- 節目ごとに先生方が子どもたちの伸びをきちんと評価し、子どもたちの主体的な取組の後押しをしていること
- ICT が日常的かつ効果的に活用されていること
- 市教育委員会の学校に対する力強く温かい伴走、市全体での「子どもとともにつくる授業」の取組

【荒島小】

- 「自分なりの表現」を重視した算数の授業について、共通理解をして授業実践を積み重ねたこと
- 協働的な学びを重視した授業改善に取り組み、互いの考えを伝え合い、より深い学びにつながる実践を重ねていること
- AIドリルをただ与えるのではなく、チャレンジシートを用いて、意図ある活用の仕方を提案していること
- 実践したことをしっかりと検証し、成果と課題を明らかにしようとしていること

【安来三中】

- 学力の幅広い定義の中で、何から手を付けるのかを明確にして取り組み、その前提を育成することでその他の学力要素を高めることにつなげようとしていること
- AIドリルを家庭学習に取り入れ、学力調査結果との関連の分析も試み、取組方法をブラッシュアップして生徒の自己調整力の伸長につながったこと
- 取り組んできたことをコーチング理論に沿って分析していることが、さらに今後の取組につながると考えられること

など

本事業は、令和4年度から県内5市（松江市、安来市、出雲市、雲南市、大田市）が取り組んでこられました。島根県教育委員会としては、各市や研究校の様々な取組だけでなく、その取組の背景にある考え方を全県で共有し、広く活用できることが大切であると考え、事業を進めてきました。

5市のこれまでの歩みは、「しまねの教育情報 Web EIOS」に掲載されています。各市の方針や意図と各校の研究を融合させて地道に取り組んでこられた様子が、県内の多くの学校で生かされるとよいと思います。本事業の成果が、島根の子どもたちの成長につながっていくことを期待しています。



令和6年度 特別支援教育支援専任教員相談実績

特別支援教育支援専任教員 秦 美沙江

令和6年4月から令和7年1月までに管内両市各校から寄せられた相談状況は下記のとおりです。相談実績数は特別支援学級・通級指導教室新任担当者(特新担)サポート訪問を含んでいます。

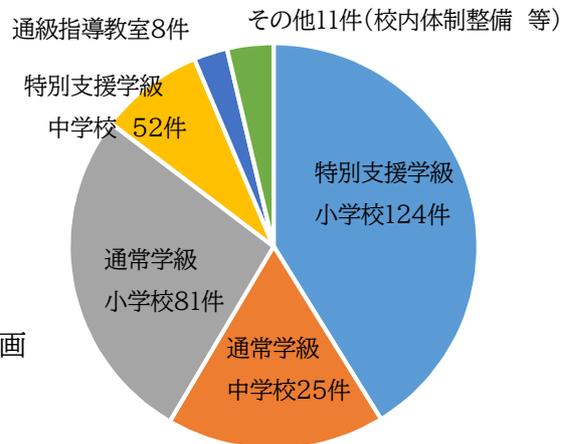
【相談件数】

総数50校 301件

義務教育学校	小学校	中学校
2校	35校	13校
7件	209件	85件

【学級別相談件数】

小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程を含む



【相談内容概要】

◎特別支援学級に関すること

- ・児童生徒理解と対応 ・教室環境整備
- ・授業づくり(自立活動、教科別の指導、合わせた指導)
- ・進路相談、就学相談 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画
- ・教育課程、教科書、指導要録

◎通常学級に関すること

- ・児童生徒理解と対応、集団づくり、学級経営 ・授業づくり(授業 UD、合理的配慮)
- ・市教委、医療、相談機関等との連携 ・個別指導、支援の進め方、学びの場の検討

◎その他

- ・校内特別支援教育推進体制整備 ・校内委員会、ケース検討会議への参加
- ・管理職相談(人材育成、担任支援、にこサポ・支援員等の活用)

特別支援教育支援専任教員の役割は、各校からの特別支援教育に係る相談に対して、迅速に対応し、必要に応じて継続的に支援することです。先生方の不安感や困り感の相談だけではなく、「こんなことがしたい」というワクワクした思いも応援していきたいと思っています。ぜひ、ご活用ください。

令和7年度の学校訪問指導について

- ◎ 島根県教育委員会が実施する学校訪問指導は、昨年度に引き続き、教育庁各課・教育事務所・教育センターが連携して実施します。
- ◎ 学校訪問指導等の枠組等については昨年度と大きな変更点はありませんが、申請方法について若干の整理をしました。詳細は今後各校にお届けする「令和7年度学校訪問指導等実施要項」にてご確認ください。
 - 研修情報システムを利用して申請する訪問指導
 - I 学力育成、授業改善、校内研究等を推進する学校の主体的・自主的な取組の継続的な支援(継続型訪問指導)
 - II-A 教職経験者研修に係る助言・指導(校内研究・研修に係る訪問指導)
 - III 初任者の授業づくり等に係る助言・指導(初任者の授業づくり等に係る訪問指導)
 - 中途申請が可能な訪問指導
 - II-B 職務研修、授業改善、生徒指導、特別支援教育、幼小接続・連携等に関する研究授業、研究協議、研修に係る助言・指導(校内研究・研修に係る訪問指導)

月	日(曜)	研修会等	会場
4	11(金)	新任研(栄養・養護)、初任研(教諭)連絡協議会Ⅱ	オンライン
	15(火)	新任等養護助教諭職務研修	オンライン
	16(水)	新任等学校栄養職員職務研修	オンライン
	17(木)	全国学力・学習状況調査 新任講師等研修、講師等対象授業づくり研修(第1回)	各学校 オンライン
	18(金)	新任研(幼)連絡協議会Ⅱ 小・中学校特別支援学級、通級指導教室新任担当教員研修(第1回)(視・聴・肢・病・院内、通級)	オンライン 島根県教育センター他
	25(金)	小・中学校特別支援学級、通級指導教室新任担当教員研修(第1回)(知・自情)	島根県教育センター
5	30(水)	ゼロから学びたい先生のための教科教育研修(中学校免許外:美術、技術)	島根県教育センター他
	1(木)	小・中学校研究主任等研修(第1回)	オンライン
	2(金)	ゼロから学びたい先生のための教科教育研修(中学校免許外:家庭)	浜田教育センター
	9(金)	中学校数学理科教員リーダー育成研修(第1回)	島根大学教育学部附属義務教育学校
	12(月)	中学校数学理科教員リーダー育成研修(第2回)	オンライン
	16(金)	管理職研修(新任校長 第1回) 小・中学校事務職員新任事務リーダー研修(第1回)	島根県教育センター他 島根県教育センター
	20(火)	生徒指導主任・主事等研修 新任特別支援教育コーディネーター研修(第1回)	松江合同庁舎 オンライン
	21(水)	小学校理数教科指導力向上プロジェクトワーキング(第1回)	島根県教育センター
	23(金)	新任臨時的任用等学校事務職員研修(第1回)	オンライン
	27(火)	新任人権教育担当主任等研修(中・義・高・特)	松江合同庁舎
6	30(金)	管理職研修(新任副校長・新任教頭 第1回) 小・中学校研究主任等研修(第2回)	オンライン オンライン
	3(火)	新任人権教育担当主任等研修(小・義)	松江合同庁舎
	4(水)	複式学級新任担当者研修	オンライン
	6(金)	小・中学校事務職員主事研修(第1回)	オンライン
	12(木)	若手教員授業力向上セミナー(第1回)	オンライン
	13(金)	小・中学校特別支援教育コーディネーターアドバンス研修(第1回) 小・中学校事務職員主任研修(第1回)	島根県教育センター オンライン
	20(金)	新任臨時的任用等学校事務職員研修(第1回) 特別な支援のための非常勤講師(にこサボ)研修	松江合同庁舎
	24(火)	教科書事務説明会	島根県教育センター
	25(水)	校長学校経営実践研修	松江合同庁舎他
	26(木)	新任学校図書館担当者研修	島根県教育センター
27(金)	中・高等学校体育実技研修	島根県立武道館、松江市総合体育館	
7	1(火)	主幹教諭研修(新任 第1回)	オンライン
	2(水)	主幹教諭研修(新任 第2回)(~8月7日) 主幹教諭研修(2年目 第1回)	オンデマンド オンライン
	3(木)	管理職研修(2年目副校長・2年目教頭 第1回)	オンライン
	4(金)	小・中学校事務職員事務主幹研修(第1回) 養護教諭研修	オンライン 松江合同庁舎
	11(金)	管理職研修(新任副校長・新任教頭 第2回、3年目副校長・教頭)	島根県教育センター
	22(火)	小・中学校研究主任等研修(小学校、第3回)	オンライン
	25(金)	国立療養所長島愛生園訪問研修	松江合同庁舎発
	26(土)	科学の甲子園ジュニア島根県予選大会	くにびきメッセ
	29(火)	ふるさと教育研修	出雲合同庁舎
	30(水)	小・中学校特別支援教育コーディネーターアドバンス研修(第2回)	松江合同庁舎
8	5(火)	小・中学校研究主任等研修(中学校、第3回) 中学校数学理科教員リーダー育成研修(第3回)	オンライン オンライン
	6(水)	学校安全(生活安全)研修	オンライン
	7(木)	ミドルリーダー育成研修(第1回)(~8日)	バルメイト出雲
	8(金)	小学校理数教科指導力向上プロジェクトワーキング(第2回) 医療的ケア児担当者研修	島根県教育センター 出雲合同庁舎
	19(火)	小・中学校特別支援学級、通級指導教室新任担当教員研修(第2回)(特別支援学級) 教務主任研修	島根県教育センター 島根県教育センター
	20(水)	若手教員授業力向上セミナー(第2回) 学びの根っこをぐんぐん伸ばすプロジェクト「学びの基盤に関する調査」研修	オンライン 松江合同庁舎
	21(木)	小・中学校特別支援学級、通級指導教室新任担当教員研修(第2回)(通級指導教室)	島根県教育センター他
	22(金)	初任者研修(義務・県立)連絡協議会Ⅲ 新任特別支援教育コーディネーター研修(第2回)	オンライン 島根県教育センター
	26(火)	新任教職員研修(養護)連絡協議会Ⅲ	島根県教育センター他
	5(金)	通級による指導担当教員等研修	松江合同庁舎
9	10(水)	教頭学校運営実践研修 栄養教諭研修	松江合同庁舎他 自治研修所
	19(金)	新任講師等研修(第2回)	島根県教育センター他
	25(木)	新任研(幼)連絡協議会Ⅲ	島根県教育センター
	3(金)	特別支援教育専門性向上研修(後期:第2回)	出雲合同庁舎他
	10(金)	小・中学校事務職員主事研修(第2回)	オンライン
10	4(火)	管理職研修(新任校長 第2回、2年目校長)	島根県教育センター
	11(火)	若手教員授業力向上セミナー(第3回)	オンライン
	26(水)	小・中学校研究主任等研修(第4回)	オンライン
	28(金)	管理職研修(2年目副校長・2年目教頭 第2回)	島根県教育センター
11	4(木)	小・中学校事務職員主任研修(第2回)	オンライン
	5(金)	小・中学校事務職員事務主幹研修(第2回)	オンライン
	15(木)	小・中学校研究主任等研修(第5回)	オンライン
1	16(金)	小・中学校特別支援学級、通級指導教室新任担当教員研修(第3回)(知・自情)	島根県教育センター
	20(火)	小・中学校特別支援学級、通級指導教室新任担当教員研修(第3回)(視・聴・肢・病・院内、通級)	島根県教育センター他
	30(金)	管理職研修(新任副校長・新任教頭 第3回)	オンライン
2	3(火)	若手教員授業力向上セミナー(第4回)	オンライン
	6(金)	外国語指導助手の指導力等向上研修	出雲合同庁舎
	10(火)	小・中学校特別支援教育コーディネーターアドバンス研修(第3回)	島根県教育センター他
3	17(火)	ミドルリーダー育成研修(第2回)	島根県教育センター他
	25(水)	R8新任研、初任研連絡協議会Ⅰ	オンライン

- 指定研修等を中心に記載しています。
- 今後、変更になる可能性があります。必ず「令和7年度島根県教職員研修計画一覧表」で確認願います。
- 初任者研修、経験者研修(6年目、中堅)、能力開発講座等については掲載していません。